

平成21年度一校一國運動活動状況報告書

港北区

菊名小学校

対象国 ジンバブエ

- ・活動時期 11月～12月
- ・実施単位 4年生全員

(実施状況報告)

4年生4クラスで、各自興味があることを調べた。インターネットや本で調べを進め、同じテーマの子どもが数人で一緒になってまとめたり、あるいは一人でまとめたりした。画用紙にまとめていったものを校内に掲示した。また、12月15日(火)の3・4校時には、青年海外協力隊としてジンバブエの中学高校で理科と数学の教鞭をとっていた前田絵理さんに来校していただき、出前授業を行った。4年生全員が多目的ホールに集まり、パソコンからプロジェクターで映し出された写真や地図を見ながら、前田さんの体験談やジンバブエの子どものこと、学校のこと、食事のことなどを熱心に視聴した。



プロジェクターから大きなスクリーンに画像を映しながらの授業です。



前田さんはジンバブエの民族衣装に身を包んで楽しい授業をしてくれました。



校舎間の渡り廊下に調べたことを掲示しました。インターネットでジンバブエのことを調べています。



(参加児童の感想)

- ・「アフリカ」というと、戦争が続いていて、まずしく、悲しいところだと思っていたけど、みんな明るく楽しそうな国だったので、私も行ってみたいと思いました。
- ・ジンバブエの子どもはえらいと思いました。なぜかという、学校から帰ってきたら、すぐ手伝いをし、おもちゃやゲームがなくても工夫して遊べるからです。
- ・授業でレンガをうまく組み立てたり、設計図をかいたりすることをやっているのすごかったです。ぼくもやってみたいです。
- ・学校に虫やへびなどの自然の生き物が入ってきて、少しこわいけど、自然がいっぱいあっていいと思いました。